

第2学年〇組 外国語科学習指導案

日 時：令和6年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所：2年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 単元名 Power-Up3 レストランで食事をしよう

P.68（開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE2）

2 単元について

食事に関わる身近な場面を設定しており、本単元では日常生活でよくあるレストランでの注文という場面を通して、レストランでの注文方法を身につけさせる。1年生ではハンバーガーショップでの注文方法を学習しているが、カウンター越しに注文すれば済むファストフード店とは異なるレストランでの食事の場面において、入店から注文までのやり取りができる力を養う。

3 生徒の実態について

埼玉県学力・学習状況調査の結果から、「会話を聞き取り、情報を整理する」の項目（聞くことの領域）においては埼玉県の平均正答率83.7％に対して本校〇％となっている。また「英文の並べ替え（動画の流れの順に発表英文を並べ替える）」の項目（話すこと〔発表〕〔やり取り〕の領域）では埼玉県平均正答率61.3％に対して本校〇％となっている。学年として聞くことや発表することに大きな苦手意識はなく、英語を聞く活動や話す活動に真剣に取り組む生徒は多い。しかし、英語学習における一人一人の興味・関心や理解状況の差はある。本校では、すべての教科において『学び合い学習』を取り入れ、コの字座席での意見の共有やペア・四人組での協働活動など、状況に応じて学習場面を設定し、生徒同士で学び合う関係・聴き合う関係を大切にしている。昨年度よりも今年度の方が「ねえ、ここどうするの？」「わからないから教えて」といった「他者の力」を借りて、「自分の学び」を深めるやり取りができており、英語でのコミュニケーション活動に意欲的に取り組んでいる。

本単元では、日頃より取り組んでいる学び合い活動を生かし、場面や状況等を明確に設定し、入店から注文までの活動を行う。教科書の本文をモデルとして、ペアでのロールプレイなどで定着を図り、互いの考えや気持ちを伝え合って、レストランでの食事の場面で、入店、注文までのやり取りができる力を身に付けたい。

4 研究課題との関わり

(1)研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2)研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
～外国語科の「見方・考え方」を働かせた学習活動の充実～

(3)研究課題解決のための仮説と手立て

仮説Ⅰ 学び合い学習で、「仲間との協同」・「他者の考えやアドバイスの活用」が実践できれば、生徒の「主体的・対話的で深い学び」が達成できる。

手立て① 生徒学習意欲を喚起する「共有の課題」と「ジャンプの課題」を設定する。

手立て② 授業者がファシリテーターとして「聴く・つなぐ・もどす」を効果的に実施する。

5 単元の目標

レストランで食事をするために、注文するときに使う表現を理解し、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめのメニューを聞いたりすることができる。

- ・レストランで注文するときに使う表現を理解し、相手が注文したものやおすすめの料理について聞き取る技能を身に付けている。 〈知識及び技能〉
- ・レストランで注文するために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしている。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・レストランで注文するために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしようとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 単元の評価規準

(本単元における「読むこと」「書くこと」「話すこと(発表)」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと やりとり (や)		レストランで注文するために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしている。	レストランで注文するために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしようとしている。
聞くこと (聞)	〈知識〉レストランで注文するときに使う表現について理解している。 〈技能〉相手が注文したものやおすすめの料理について聞き取る技能を身に付けている。		

7 単元計画 (2時間扱い)

時	◆ねらい ○活動	評 価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準 <評価方法>
1	◆レストランで注文するときに使う表現を理解し、モデル文を引用しながら伝えることができる。				
	○レストランで食事をするときに使う表現や特徴等について確認する。 ○ペアになり、対話文を練習する。				単元において第1時は記録に残す評価は行わないが、指導に活かす見取りは行う。
2 本 時	◆レストランで自分の食べたいものを伝えたり、おすすめを聞いたりして、注文することができる。				
	○ペアになり、レストランでの注文について練習する。学び合い班になり、互いの発表を見せあい、アドバイスを送り合う。		や	や	◎レストランで注文するために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめのメニューなどを聞いたりしている。〈観察〉 ◎レストランで注文するために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしようとしている。〈観察〉
後 日	ペーパーテスト	聞			◎レストランで注文するときに使う表現について理解している。 ◎相手が注文したものやおすすめの料理について聞き取る技能を身に付けている。

8 本時の展開

(1)目標

レストランで自分の食べたいものを伝えたり、おすすめを聞いたりして、注文することができる。

(2)準備

フラッシュカード、タブレット

(3)本時の展開 (2/2時)

時間	○学習活動・学習内容	指導上の留意点・評価 (○留意点 ◆評価)
導入 10分	1 あいさつ ・曜日・日付・天気 2 前時の復習 ・教科書本文をペアになり会話練習する。	○本時は特に会話活動が中心となるため、緊張をほぐす意味でも挨拶の様子を注意深く観察し、アドバイスする。 ○教科書の文が正しく発音できているか注意し適宜修正する。

展開 30分	3 本時の目標を確認する。	
	レストランで自分の食べたいものを伝えたり、おすすめを聞いたりして、注文することができる。	
	4 ペア学習 ・メニューの中から、自分が食べたいものや、おすすめを聞いたりして注文する練習を行う。 5 グループ学習① ・学び合い班になり、発表をするペアと観察するペアにわかれる。 ・発表が終わった後に、観察するペアからアドバイスをもらう。 6 グループ学習② ・5で行った発表と観察するペアを入れ替える。観察となったグループからアドバイスをもらう。	○ペアでの練習が中心となるため、わからない箇所を聞きあえる雰囲気作りに努める。 ○生徒の様子を注意深く観察し、発音などの間違いやすい個所を全体で確認する。 ○「何ができればよいか」を確認し、観察のポイントを伝える。 ○中間指導を行い、効果的な表現の共有など、さらに上げられるように指導する。 ◆レストランで食事をするために、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしている。〈観察および録画データ分析〉 評価基準 a: 学んだ表現を効果的に活用して、状況に応じて自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを工夫して聞いたりしている。 b: 学んだ表現を用いて、自分の食べたいものを伝えたり、おすすめの料理などを聞いたりしている。 c: 「b」を満たしていない。
	7 グループ学習	○ペアでのやりとりをタブレットで撮影する。
	・ペアでのやりとりをタブレットで録画記録する。	
まとめ 10分	8 全体の前で何組か発表する	○自主的な挙手を求めたいが、立候補がない場合には教師からの意図的指名を行い、発表させる
	9 振り返り ・振り返りカードに本時の授業で学んだことを記入する。	○活動中に使用した表現を板書し、クラス全体で共有し、振り返りができるようにする。

(4)板書計画

本時の目標 「レストランで自分の食べたいものを伝えたり、おすすめを聞いたりして、注文することができる。」 ～Menu～ New Words Textbook Activity まとめ	What day is it today? What is the date today? How is the weather in Iruma today?
--	---